

せらび

第一二六号

— 発行 —

社会福祉法人
せらび後援会
0144-75-2328

年始挨拶
「一寸先は闇」に思う
 社会福祉法人せらび後援会会長 **名越 晴男**

みな様には日頃より後援会活動にご理解とご支援を賜りありがとうございます。

年明け早々、能登半島地震の発生、そして羽田空港の航空機事故と立て続けに多数の犠牲者と安否不明者が出る災害となりました。

日本国民が新しい年を沈痛な心で迎えたことは痛恨の極みです。被害に遭われたみな様方に衷心よりお見舞い申し上げます。

被災者そして被災地に対し多くの方々からの救援、支援の手助けがなされています。

新年を迎えて
 社会福祉法人せらび
 理事長 **上田 正一**



2024年の年頭にあたり、謹んであいさつ申し上げます。会員ならびに関係者の皆様には、健やかに新年を迎えられましたこととお慶び申し上げます。また、せらびの運営にあたりましては、日頃より温かいご支援、ご協力を賜り厚く御礼申し上げます。

3年余り続いた新型コロナウイルスの感染症対策も昨年5月には感染症第5類に変更になり、徐々に社会活動もコロ

ナ以前に戻りつつあるようです。しかし、各種感染症対策には引き続き留意が求められ、特に医療や福祉の現場においては気が抜けない状況が続いていると感じております。その様な中にありながら、本法人におきましては職員の皆様のご尽力のおかげで、計画した年末事業をほぼ実施することができました。

ありがとうございます。

コロナ以前の状態に至るにはまだ厳しい状況が続くことも想定されますが、本年も役員一同、力を合わせて諸事業に取り組み所存でございます。

後援会の皆様には、引き続きご支援賜りますようお願い申し上げます。



私たちも更なる寄り添う心で「共生社会」の進展を目指しましょう。

4年ぶり!
大人数でにぎやかな
クリスマス会
苦小牧地域生活支援センター

苦小牧地域生活支援センターでは、12月15日にクリスマス会を開催しています。利用者と職員を合わせて23名が参加し、支援センターとしては4年ぶりの大人数でのレクリエーションとなりました。コロナが流行しからは、同じ内容のレクを2回に分けて開催して集合人数が多くなり過ぎないようにしたり、食事は皆で食べず持ち帰りにしたりと、感染予防に努めてきました。未だにコロナの流行は続いているので、体調確認等に気をつけながらはなります。やはり大勢が集まった方がにぎやかに盛り上がるので、今後も楽しい集まりを企画していきたいと思えます。

勉強会実施!
久しぶりの対面交流
千歳地域生活支援センター

これまでも年に数回、苦小牧センターとの勉強会を実施していましたが、久しぶりに対面で実施するにあたり今回は苦小牧の他事業所の見学も併せて行いました。当日は最初に法人の各就労支援事業所を見学し、職員に施設の概要や特色などを説明してもらい、各事業所への理解を深めることができました。

その後は苦小牧センターを訪問し、仕事上での困りごとなどを共有し意見交換をしました。センターの体制、対応の仕方などは違った部分も多く支援の幅を広げるといった意味で有意義な時間でした。

ここ数年コロナ禍も影響し同法人内でもなかなか交流がとれなかったため、今後も定期的に交流できる機会を持ちたいと思えます。

動画音声合成ソフト導入
作業の幅を広げる
就労支援センターOmnet

新しい年がスタートしました。今年もメンバー、スタッフ共健康に留意し、充実した実りある1年にしたいと思っております。

さて、Omnetでは動画作成の学習の一環として音声合成ソフトを導入しました。話すことが苦手でも文字から音声データが作成でき、マイクを使って録音する場合と違って雑音が入らないというメリットがあります。現在はOmnetの施設紹介、作業紹介などの短い動画を作成する学習に取り組んでいます。今後は動画作成に興味があるメンバーのプログラムとして定着すること、Omnet全体としても作業の幅が広がることを期待しています。

本年もどうぞよろしくお願います。

ご支援有難うございます

法人、施設、後援会への寄付と会費を納めていただいた方々です。皆様の温かいご支援、ご協力に感謝し、報告させていただきます。

(2023年11月18日〜2024年1月26日)

▽ **法人寄付**
 王子総合病院附属看護専門学校様

▽ **後援会会費**
 笠原浩史様、戸部マズ子様

2023年度の会費納入にご協力、お願い致します。

年会費は左記の通りです。

- 個人会費 一口 五千円
- 団体会費 一口 二万円
- 賛助会費 一口 三千元